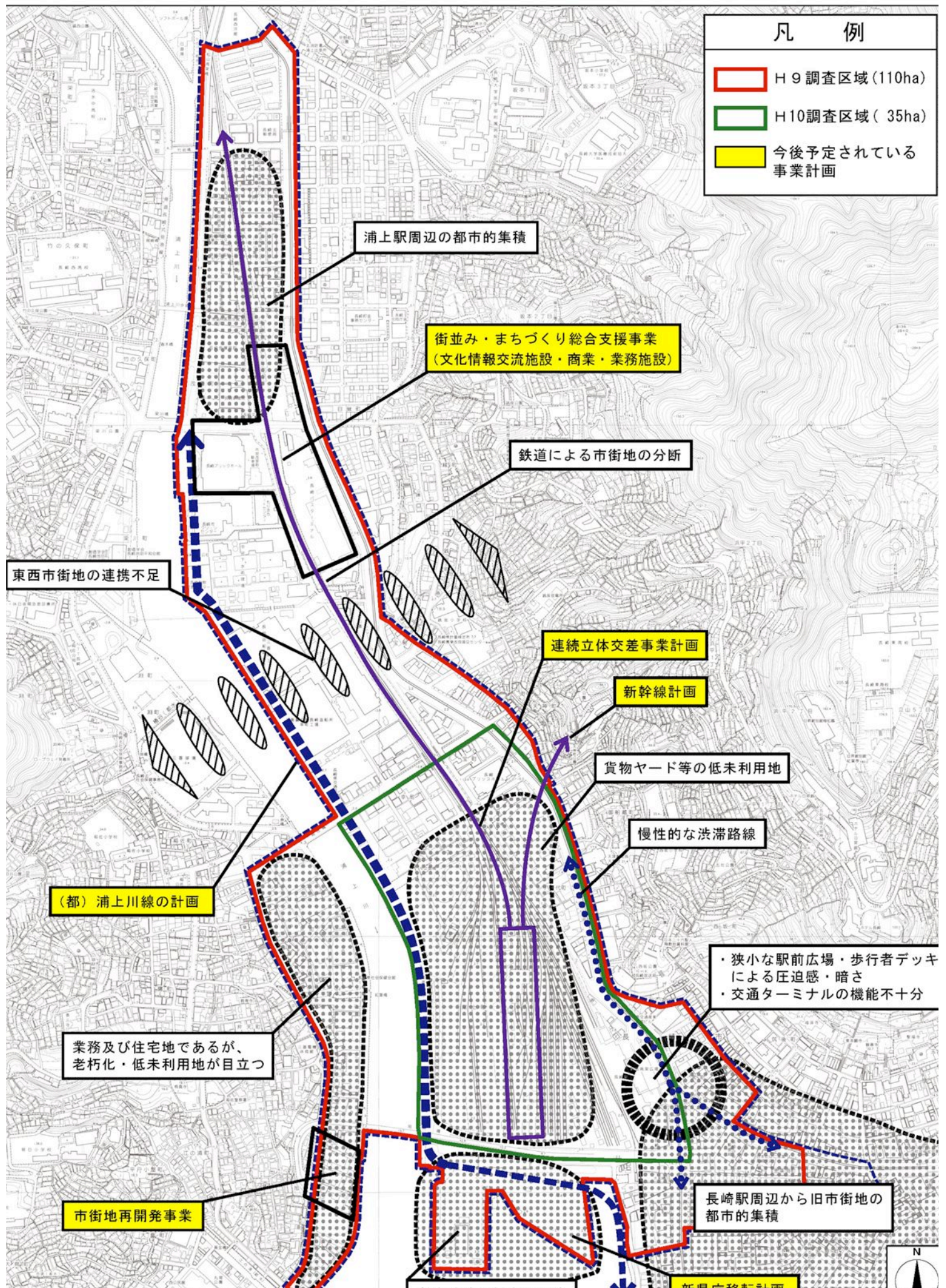
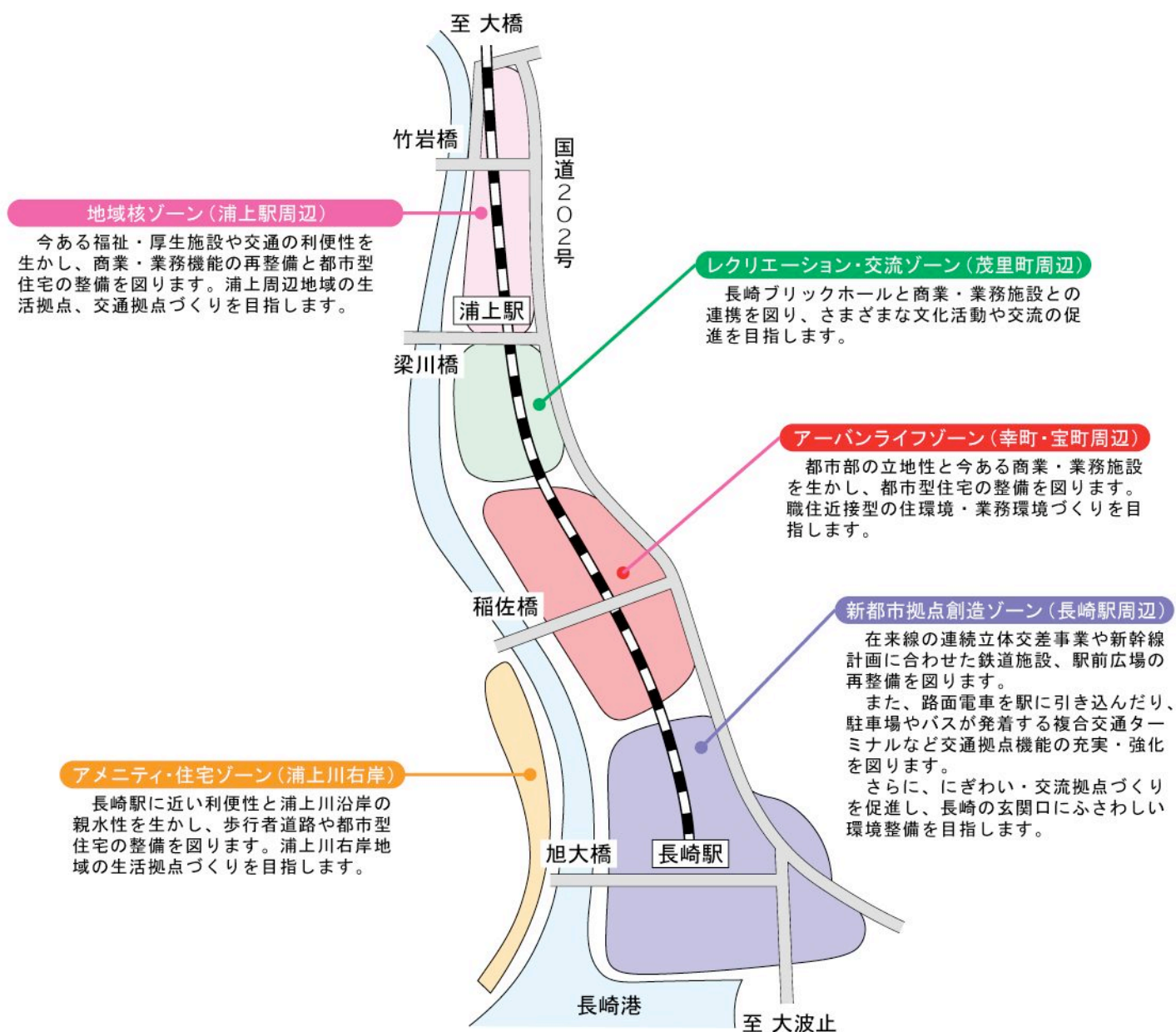


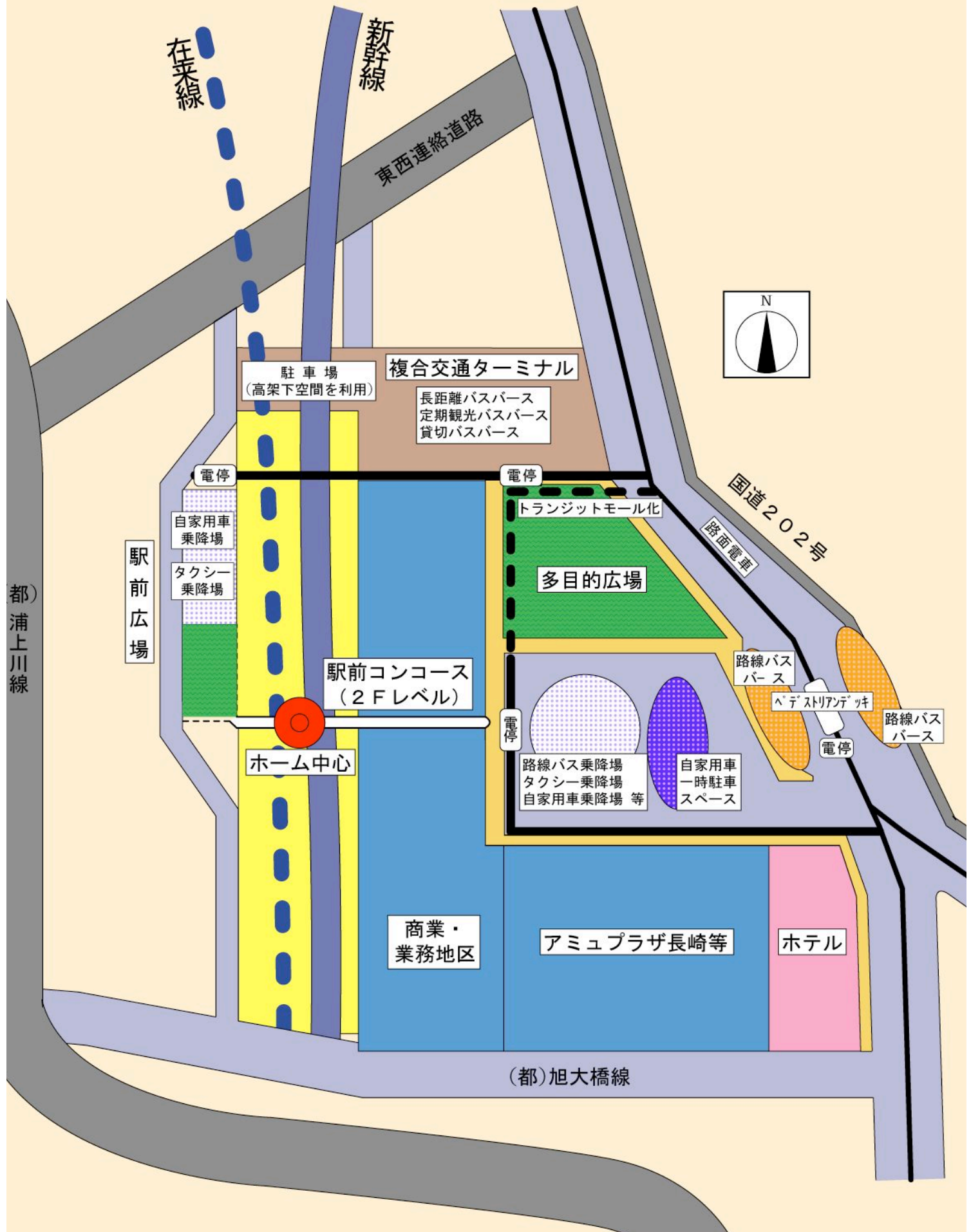


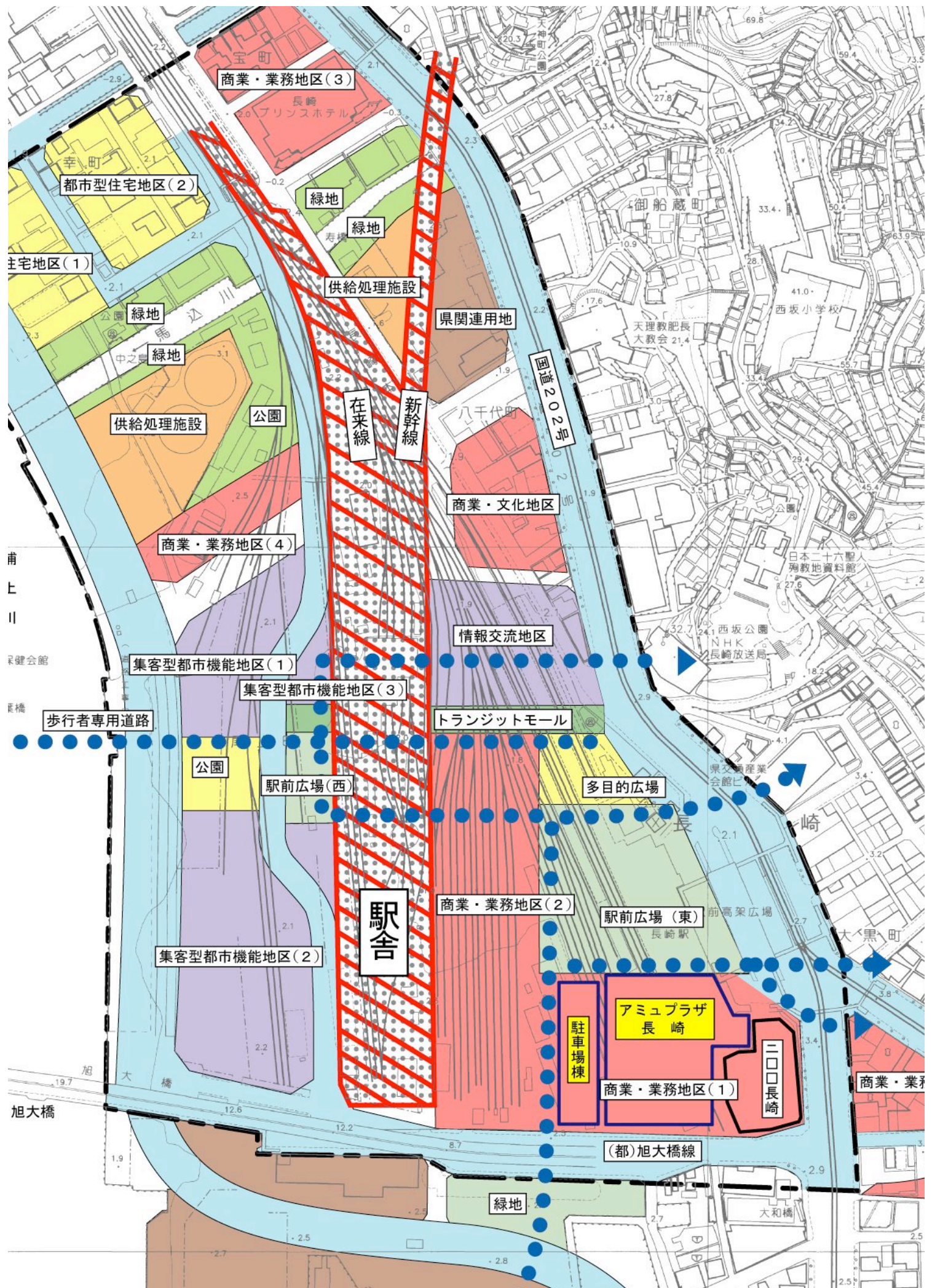
基本構想図



長崎駅周辺地区の5つのゾーン

長崎駅部全体構想イメージ図





本交差事業

高架化事業

走行していることから市街地が分断され、東西間の交通に大きな影響を及ぼしています。

体交差化させることで円滑な道路交通の確保と、東西

長崎駅から西浦上駅間、延長約4.5kmの区間について行われ、その結果、浦上駅（松山跨線橋下）から長崎方面へと繋がります。

◎踏切がなくなるため、交通渋滞や踏切事故の発生が減少します。

◎鉄道により分断されていた東西市街地の一体化が図れます。

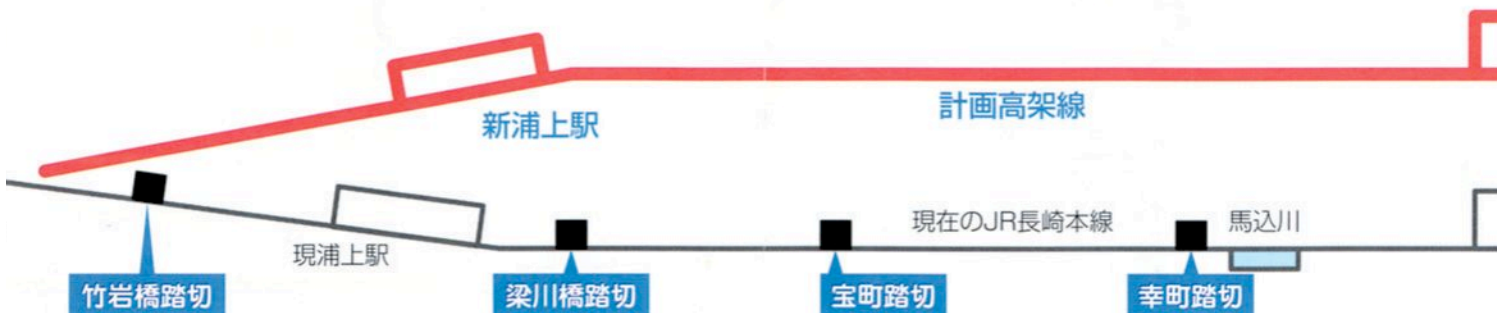
◎新たに生まれる高架下空間を有効利用できます。

◎側道整備や土地区画整理事業などを同時に実施できます。

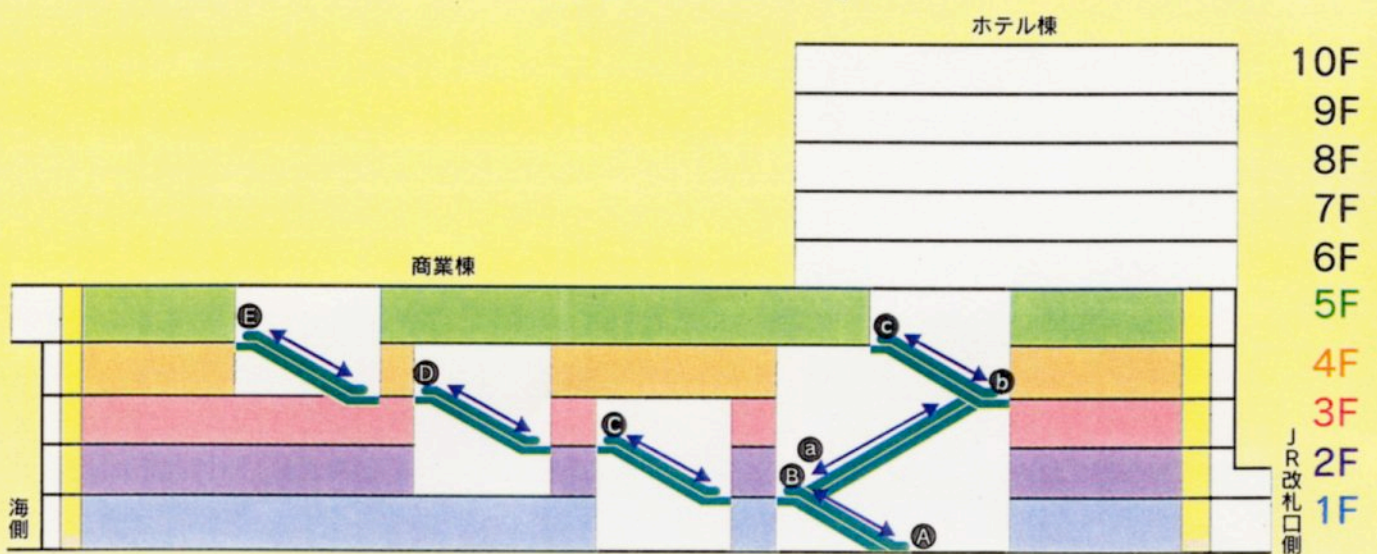
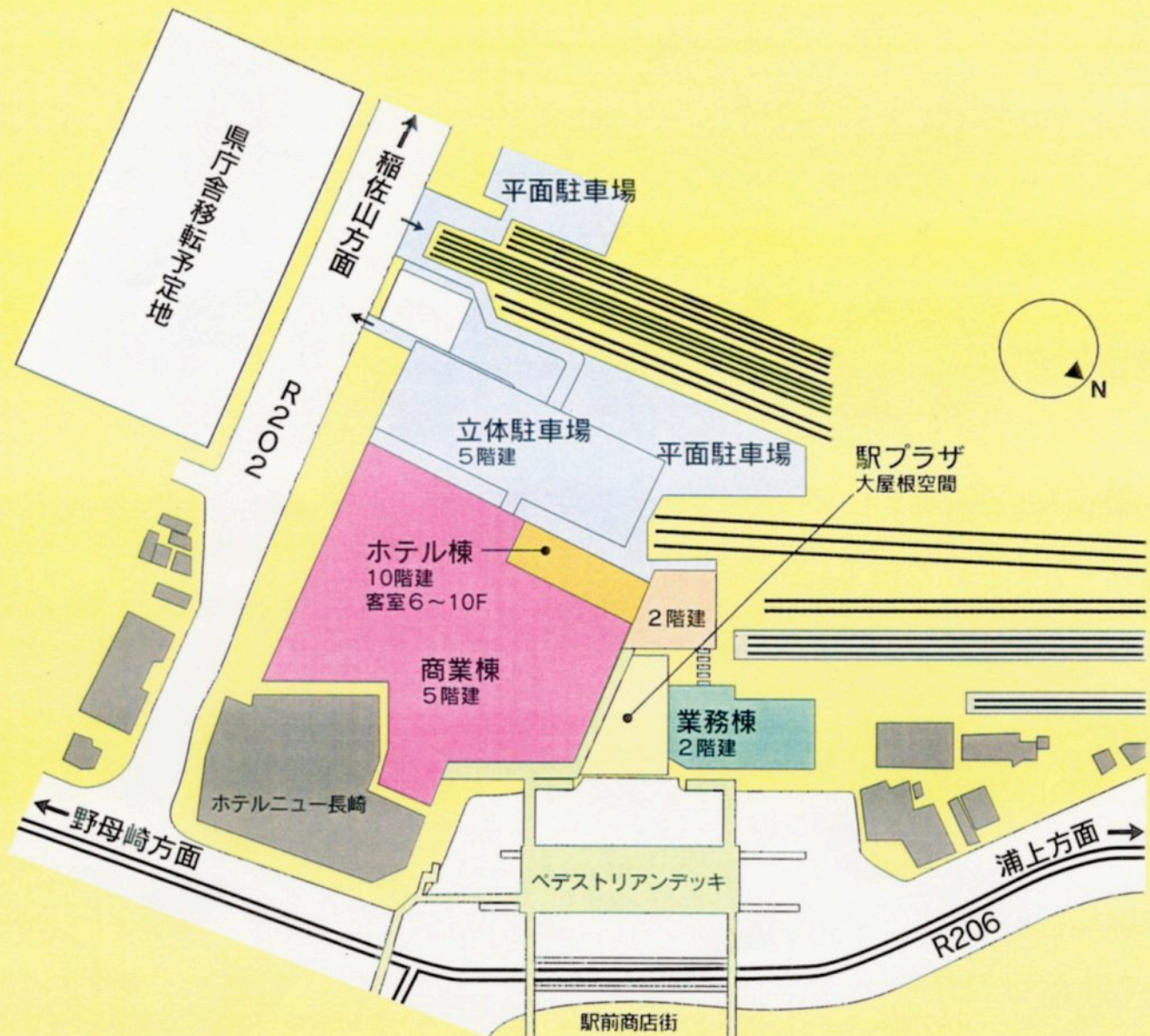
◎駅施設が改良され、利便性の向上が図れます。

る効果

東西市街地の一体化



平面図・立面図



面図

